

## 仏事の知識 仏壇 位牌

お寺の本堂正面、ご本尊さまをお祀りしてある壇を「須弥壇」と言い、「須弥山しゅみせん」という仏さまのおられる理想世界を表している。各家庭のお仏壇も本堂のミニ版であるからご本尊さまを祀る。ちなみに曹洞宗のご本尊はお釈迦さまで、本尊称名は「南無釈迦牟尼仏なむしゃかむにぶつ」とお唱えする。

お位牌は「死者の霊の依り代」とされ、お戒名を記してお仏壇に安置する。お仏壇にお位牌を安置することは、亡きご先祖さまがみ仏とともに極楽浄土にあることを意味している。

白木のお位牌は、葬儀の際の仮のものであるから四十九日忌明け法要後には塗りの本位牌を祀る。但し、買ったばかりのお位牌は置物と同じであるので、必ず開眼供養してから納める。お位牌だけでなくご先祖さま方を記した過去帳を用意してご命日を偲び供養を続ける。

ご先祖さまのお年忌を迎えられるお家にはお寺から通知済ですのでご確認ください。

## 永平寺だより

永平寺七十八世貫首・宮崎奕保禅師さまは明治三十四年（一九〇一）十一月二十五日生まれ、数えの百七歳になりました。お元気で修行僧の先頭に立ち、範を示されております。

**長男 孝純**（呼び名・全堤）は三年目になります。現在は承陽殿（御開山道元禅師さまを祀る御廟）にて修行中です。

**次男 秀孝**は三月八日に上山することになりました。ただ今諸々準備中、六日に旅立ちます。

道元禅師さまは、正法眼蔵随記に「海中に竜門と云う処あり」とお示しです。

「魚がここを通ると必ず竜となるように、修行道場に入ると必ず仏となり祖となる。ただ、頭をまるめ、四角い袈裟を着て、仏家のきまりに従うとたちまち道を得ることができ。」

修行に出す寂しさがありますが、大本山にて道を同じくする大勢の修行者とともにお釈迦さま、道元禅師さまの教えをいただくことができることは何にもまして有難いことでもあります。

### 秋の仏教講演会

講師 板橋興宗老師

期日 10月14日(日)

時間 午後1時より

\*前大本山總持寺貫首、武生市・瑩山禅師「御誕生寺」住職

主催 第17教区護持会

### 第3回広蔵寺寄席

三遊亭鳳楽独演会

日時 10月7日(日)午後6時開演

チケット 1000円(限定250名)

日本の古典芸能「落語」の真髓を味わってみませんか！本物の落語を是非この機会に！

野倉石材店

墓石・燈籠・建築石材・各種加工販売

胎内市東本町 6-5

43-3064